



ミヤジマ電気工事株式会社 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、積極的な取組みを通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2022年8月8日
ミヤジマ電気工事株式会社
代表取締役 宮嶋 裕

SDGsへの取組み

電気工事のプロ集団

電気工事の技術者集団として社員一人ひとりの人材育成を図るとともに、あらゆる電気工事におけるサービス・商品を通じて、お客様に感動を与え続ける会社を目指してまいります。

【主な取組み】

充実した社内研修やインターシップ取り組み
教育体制の整備及び協力店との研修会実施
工事の品質について外部から表彰、大臣賞受賞

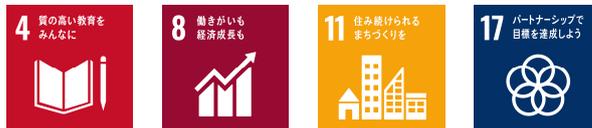


地域・社会貢献

地元企業や神社、グループホームなどの工事に積極的に取り組むことで、住みやすい街づくり及び持続可能な地域社会に貢献してまいります。

【主な取組み】

地元企業との取引重視
地元大学の企業店へ参加
地元人材の積極採用

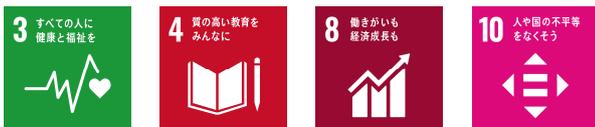


社員全員の幸福のために

社員が健康で働きがいをもって働くことができる企業を目指し、アットホームな環境づくりを実践してまいります。

【主な取組み】

手厚い健康診断による健康経営の実施
社員旅行や食事会などの懇親会
資格取得支援



環境を守り、豊かな未来へ

電気工事業を通じて、省エネ設備の普及を推進します。また、環境保護に積極的に取り組むことにより、持続可能な地球環境の保全に努めてまいります。

【主な取組み】

LED化工事・再生エネルギー工事の積極受注
奉仕団体を通じて植樹活動への参加



持続可能な開発目標 SDGsとは

SDGsは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際開発目標。17の目標と169のターゲット達成により、「誰一人取り残さない」社会の実現に向け、途上国及び先進国で取り組むものです。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



※本宣言書は、バナナペーパーを使用しております。



～バナナペーパーとは～

バナナペーパーは、今までは廃棄されるだけだったオーガニックバナナの茎から取った「バナナ繊維」を原料として使用し、日本の和紙の技術を用いて作られた「フェアトレード」の紙です。

野生のシマウマ、キリン、ゾウが自由に歩くアフリカ南部にある国・ザンビアの村で繊維を取っています。この繊維を取るという仕事のおかげで、アフリカの女性たちに雇用が生まれ、子供たちが学校に行ったり、マラリアを予防するための蚊帳を買ったり、電気のない家にソーラーランプをつけたりすることができるようになりました。

環境に配慮し、アフリカの貧困層の村に雇用を生み出し、現地の人々の自立を支えるバナナペーパーは、国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（SDGs/Sustainable Development Goals）」の達成の貢献につながる特徴を持っています。